

| きっと満足 |

糸島生活

Life Town Itoshima

街・海・山・田園、どこに住む？

市街地に住みながら、畑作業に精を出したり、山里に暮らす家族のお気に入りの場所が海だったり、こんなことができるのも、市街地と海や山の自然が近いから。

市街地や郊外に住む6組の移住者の暮らしぶりを通して、あなたの糸島生活を思い描いてみてください。

【市街地】
PEOPLE 1



自分のペースでゆったり暮らせる街。移住者のアイデアを生かした街づくりが活発で、私もチャレンジしたくなりました。
柳詰紘子さん (40代)

【海辺】
PEOPLE 1



思い出深い海のそばでトマトを作っています。時計がいない。太陽の上り具合で時間がわかる。今年は妻との海釣りの機会をもっと増やします。
今村宏治さん (30代)

【市街地】
PEOPLE 2



落ち着いた街並みが気に入っています。街中に住みながら、本気で畑ができるのは、願っていただけに喜びもひとしおです。
真鍋浩二さん (60代)

糸島生活 Contents

移住者インタビュー

- * 市街地 PEOPLE p3
- * 海辺 PEOPLE p5
- * 山里 PEOPLE p7
- * 田園 PEOPLE p8

市政・生活情報

- * 地域コミュニティ p 9
- * 交通環境 p10
- * 子育て支援 p11
- * 教育環境 p13
- * お仕事環境 p15
- * 住まいさがし p16
- * 移住のステップ p17
- * Q&A p18

【山里】 PEOPLE 1



山里の環境の良さに惹かれて移住しました。街では使わなかった手足のすべてを使う生活。一日がほんとうに気持ち良く過ぎていきます。

上口勝平さん (30代)

【田園】 PEOPLE 1



目の前に広がる田園風景を見ていて、豊かさの感じ方が変わりました。今は海や山の日常の光景さえ愛おしい。

舩野生太さん・結花さん (30代)

【海辺】 PEOPLE 2



人も自然もゆっくりと呼吸しているようで、私もそんなふうにご過ごしていいんだ、と。海辺で家族と過ごす時間を大切にしています。

クレマデス海上 愛さん (40代)

福岡県糸島市

人口: 103,104人
 世帯数: 44,589世帯
 面積: 215.69km²
 平均気温: 16.2℃
 (令和4年2月末現在)



市街地

〈 PEOPLE 1 〉

柳詰紘子さん(40代、パート)

- ・ 家族構成：本人、夫、子2人
- ・ 居住地：南風校区
- ・ 移住元：東京都
- ・ 居住歴：4年

街に住み、山へ海へ。 糸島の自然と暮らしが調和

柳詰さんの住まいは、JR「筑前前原駅」の南に広がる住宅地にあります。糸島市と福岡市の天神、博多駅を結ぶ高速バスの乗り場も徒歩圏内。

「海のそばも考えましたが、この便利さは魅力でした」

週に三日、福岡市内の勤務先に出勤、他は自宅を中心にリモートワークで仕事を行っています。糸島へ越して来るまで、転勤族の夫とともに青森、千葉、埼玉など全国を転々。定住を考え始めた時、実家にも近い糸島が浮かび、「勢いと勤で」決めそうです。当時、小学生だったお子さんは二人とも中学生に。「それまで一年ごとに転校していましたから、可哀想で。今は友達ともうまくいっているようで、それは元気です」

その元気の理由がもう一つありました。柳詰さんは両親の影響で小さい頃から大のアウトドア好き。糸島へ来てからも、家族や子どものスポーツ仲間の家族と一緒に、市内のキャンプ場はもちろん、県外へも何度も出かけています。キャンプ熱が高じて、最近はキャンピングカーを購入したほど。

「いつかソロ(キャンプ)デビューしたいな(笑)」と。こんなお母さんなら子どもたちも楽しくないはずがありません。駅へ向かう途中、糸島富士・可也山の全容を望むことができるのも、柳詰さんの密かな楽しみです。



柳詰さんの本棚には、本人も大好きなたかぎなおこのコミックが

糸島の人々の営みに触発されて、
街も自然も楽しんでいます。



前原商店街の「本屋さん」で店番中の柳詰さん。お客さんは大人も子どもも、みんな思い思いに過ごしている

糸島で広げたネットワークが、 チャレンジ精神を育んだ

「糸島は、いろいろなことにチャレンジする人がたくさんいるので、私も何かやりたいという気持ちが芽生えました」という柳詰さん。そのきっかけとなったのが、市が以前、開催した「ママライター講座」の受講でした。生来の活動的な性格に加え、講師やライター仲間との出会いが、柳詰さんのネットワークを広げています。

去年は、前原商店街にオープンした本屋さんの準備段階から手伝いました。この本屋さん、30センチ四方の本棚一つひとつにオーナーがいるユニークなお店。柳詰さんはその本棚におすすめの書籍を並べるオーナーの一人です。

前原商店街は、旧唐津街道沿いに歴史ある店が軒を並べていますが、近年はシャッターを閉じたままの店が目立つようになっていました。そこへ、移住者のアイデアを地元の人が支える形で、空き店舗を活用した新しい店が一つ、また一つとオープン。本屋さんもそうやって生まれました。オーナーが交代で店番をする仕組みです。

「運営者が移住者で、そこに集まる人も個性的な活動をやっている人が多く、元気をもらっています」と柳詰さん。本を媒介にした新しい交流の場ともなっていて、月に一度のペースで回ってくる店番を楽しみにしています。

充実した日々を送る柳詰さんですが、糸



南風校区の閑静な街並み

島に来てから、急ぐことがなくなり、自分のペースでゆったり過ごせるようになったそうです。「市街地だけどゴミゴミしていないし、海や山の自然も近い。暮らしやすい便利な田舎です」。

柳詰さんの お気に入りスポット 前原商店街



明治期に建てられた商家を活用したレストランや、糸島のクラフト作家の作品を扱う店、飲食店など、移住者の出店も増えています。「古い風情を残しつつ、新しい風を入れようという動きが活発で、これからもっと盛り上がると思います」

市街地

〈 PEOPLE 2 〉

真鍋浩二さん
(60代、一級建築士事務所代表)

- ・家族構成：本人、妻、子2人(1人は他県在住)
- ・居住地：加布里校区
- ・移住元：東京都
- ・居住歴：2年半

穏やかに暮らせる 住まいを探して

真鍋さんは、居住エリアよりも物件重視で住まいを探しました。ネット検索を中心に、最終的には取れるだけの年休を取り、糸島に滞在。目に叶う物件に出会うまでに2年半が経過していました。それが加布里校区にある今の住まいです。

「昭和60年代建築の和風住宅です。竹小舞^(※1)の土壁や、加布里神社への参道が広く、落ち着いたたたずまいの街並みが気に入りました」

真鍋さんは、糸島市の移住体験事業^(※2)に参加するなどして、これまで市内各地を見てきましたが、越してきて実感したのは、スーパーや福岡方面を結ぶ高速バスの乗り場が近く、何かと便利なこと。「もっと田舎に住む覚悟でしたから、便利過ぎるくらいです。しかし、これから歳をとることを考えると、これでよかったと」

加布里は、東西に走る国道沿いに形成された市街地の西端に当たります。そして真鍋さんがもっぱら向かうのは、ここから更に西の「憧れの」農村部。「加布里から西は、約5キロ信号がないんです」(笑)

東京の建設会社で、建築士として忙しく働いていた真鍋さん。リタイア後は晴耕雨読の暮らしをしたいと考えていました。そんな折、2017年にテレビ放映された映画「人生フルーツ」^(※3)を観て、思いを加速させます。主人公夫妻の畑作業を中心にした静かでミニマルな生活。「自分が求めている生活はこれだ」と強く思ったそうです。これが今の真鍋さんの暮らしにつながっています。



加布里神社参道

街に住み、郊外を目指す暮らし。
野菜は元気かな？
今日も畑をひとまわり。



「田舎に住むつもりだったが、歳をとることを考えると、市街地でよかった」という真鍋さん

真鍋さんの 「人生フルーツ」、着々と

移住後は、手始めに敷地内に畑を3畝(約15㎡)ほど作って夏野菜を。ほどなく友人とご近所の方の厚意で畑は倍以上の広さになり、仕事以外の時間は野菜作りを楽しんでいます。奥さんも得意なパンを焼いたり、糸島産のイチゴや甘夏、庭のユズなどでジャムを作ったり。ご近所さんと野菜や花などをやりとりすることも。「どこかへ出かけるより、家にいる時間がとても充実しています」と満面の笑み。今年から米作りの手伝いも始める予定です。

実は、移住後、半年足らずでコロナ緊急事態宣言が出され、自粛を余儀なくされる中、真鍋さんは自身の体験も踏まえ、糸島の可能性についても考えていました。

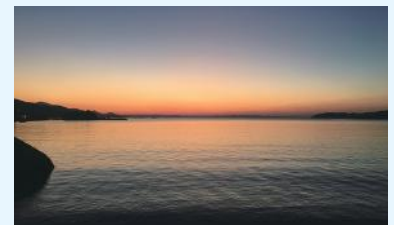
「コロナ禍で一つ恩恵と呼べるものがあ

るとすれば、リモートワークが一般的になったこと。通勤のストレスは想像以上で、それがなくなるのはとても良いこと。どこに住むか、何をするか。暮らし方のバリエーションは様々あり、それが認められる時代になった。移住先としての糸島の注目度はますます高まっていくと思います。」



国道沿いに商業施設が建ち並ぶ加布里校区

真鍋さんの お気に入りスポット 加布里海岸の夕日



移住体験や住まい探しで糸島に滞在する間、真鍋さんは気に入ったシーンをこまめに撮影。移住後も続けています。お気に入りスポットは、自宅からすぐの海岸。「とにかく夕日が綺麗。そろそろ時間よ、散歩に行かない?と妻から声がかかります」。



DIYが板についた真鍋さん

※1 土壁の下地に使う細い竹を組んだもの。 ※2 短期滞在の需要に応えるゲストハウスが増えたことから、移住体験事業は終了しました。
※3 東海テレビ放送制作のドキュメンタリー映画。津端修一さんと英子さん夫妻の丁寧な暮らしを綴る。



〈 PEOPLE 1 〉

農業をやるなら芥屋の海のそばで。
初めからそう決めていました。



今村宏治さん(30代、農業)

- ・ 家族構成：本人、妻
- ・ 居住地：引津校区
- ・ 移住元：福岡市
- ・ 居住歴：2年

思い出の地で 農地と住まい探しに奔走

20代前半で農業を志した今村さんが、農地を探す際に真っ先に思ったのが、親戚が住んでいた志摩芥屋でした。小さい頃、福岡市の実家から数えきれないほど通った思い出の場所。夏の海水浴、父との海釣り、懐かしさでいっぱい。

「親戚の家には、確か農地もあったはず」しかし残っていたのは、空き家となった建物だけでした。実家から福岡県農業大学へ通い、休日は芥屋で農地を探す日々。1年半かけて見つけたのが、現在のハウス3連棟(約700㎡)です^(※1)。

就農後は、やはり芥屋に借家を求めますが、なかなか見つからず、いったん、少し内陸の師吉地区に住み、ハウスへ通うこと6年。同じ志摩エリアとはいえ、住まいと農地が離れているのは不便だったに違いありません。

そうして7年目の一昨年、結婚を機に再び住まい探しに本腰を入れます。空き家を何軒となく見て回っていたところ、たまたま不動産市場に公開された古民家が条件に合い、購入しました。

古民家にこだわったわけではなく、選果や出荷作業ができるスペースが必要なため、大きな納屋のある古民家は好都合だったのです。

「少し時間はかかったけど、芥屋に住んで農業をやりたいという夢が叶いました」と、日焼けした顔は晴れやかです。



甘い中に野性味が感じられる今村さんのトマト



芥屋に住むようになって、二人でよく釣りに行くようになったという

時間を見つけて奥様と海釣りへ。 やっぱり海がいちばん!

今村さんは農業大学校ではトマトを専攻。今もトマト専業でやっています。

「なぜトマトを?」

「野菜の中でいちばん好きだから」

なるほど、今村さんの判断基準は明快。就農場所を決めるのもそうですが、聞いていて気持ちが良い。

農業大学校で学んでいた頃、研修先の芥屋のトマト農家で、それまで食べたことのない甘いトマトに出会い、感動。目指すトマトの方向が定まりました。時おり、イチゴの「あまおう」に匹敵する糖度のトマトができることもあるそうですが、「まだまだ理想には遠い出来です。」と、工夫を重ねています。農地もハウスと合わせて 3700㎡に広げて、新しい取り組みを始めています。

芥屋では若い世代の農家が少なく、また地域の担い手となる現役世代が地域外へ勤めに出ることが多いそうです。一方で、地域のことが分からないまま移住するケースも見られ、地域行事一つにも運営面での課題が山積みです。「街の煩わしさから逃れてこちらに来る人もいますが、実際は田舎のほうが人間関係は濃い。そこはうまくやっていかないといけない。逆に、仲良くなればこれほど力強いものはない」と。

芥屋の暮らしは、「時計がいらぬ。太陽の上り具合で時間がわかる。やっぱり海がいちばん」という今村さん。かつて父とよく



今村さんの夢が詰まったハウス

行った海釣りは、今はもっぱら奥様の知佳さんと2人で。

「去年は4回くらい行ったかな。今年は10回行くぞ!」(笑)

今村さんの
お気に入りスポット

幣の浜

芥屋の大門から野北浜まで約6キロにわたって砂浜と松原が続く、玄海国定公園を代表する海岸です。「天気の良い日は壱岐が見える、糸島ならではの光景」と、今村さん。海岸沿いの「サンセットロード」は、潮風の中、快適なドライブが楽しめます。

※1 農地を買ったり借りたりする場合は農業委員会の許可が必要です。



〈 PEOPLE 2 〉

郷愁を誘う海辺の町で、
ゆっくりと自分らしく暮らしていきたい。



Fukae

クレマデス海上 愛さん
(40代、移住・旅行サポート、執筆など)

- ・ 家族構成：本人、夫(プログラマー)、子2人
- ・ 居住地：深江校区
- ・ 移住元：福岡市
- ・ 居住歴：11年

海が暮らしに 欠かせない存在に

夏、子どもたちは、きっと家を出た時から泳いでいる気分でしょう。海まで歩いてたったの5分。

「いつ行っても違う表情を見せてくれて、飽きることはありません。みんな好きなように過ごしています。主人はウクレレを弾いて仕事のことを忘れるみたい」と、愛さんは季節を問わず、この海辺で過ごす家族の時間を大切にしています。

山口県出身の愛さんが、スペイン生まれのご主人と二丈深江に移住したのは、11年前。お腹には長女がいました。「もっと良い環境で子育てしたい」。勤め先の福岡市天神へ電車一本で行ける「駅近」を条件に住まいを探していたところ、思いがけず、駅も海も歩いて行ける物件が見つかったのです。

愛さんたちが暮らす地域は、海水浴場を中心とする白砂の海岸と、国道との間に民家が集中。細い路地に家々が軒を連ねる様子は、どこか懐かしさを感じさせます。

「お隣のお母さんがいつも私たち家族のことを気にかけて、声をかけてくれます。上の子が小学校に上がったときは、自分の孫のように心配して登校を見守ってくれました。私も何かあればすぐに相談できる関係が築け、安心して暮らせています」。なんだか昭和の時代の近所付き合いのような温かさがあります。

3年ほど前に勤めを辞め、自宅をベースに仕事をするようになってからは、時間をやりくりして学校や地域の役も引き受けられるようになりました。

毎年7月上旬、砂浜で行われる「深江川祭り」は、子どもたちの水難の無事と健やかな成長を祈る伝統行事。子どもたちは夜明け前から浜に出て、砂と竹で祭壇を作ります。愛さんは「身近に海があることのありがたさと同時に、悲しい出来事が起こらぬようにと気が引き締まります」と。



みんな良い表情。楽しさが伝わってきます

住む前から地元の人と やりとりを重ねて

さて、愛さんたちが住まいを決める際、ちょっとした心配事がありました。お目当ての物件のトイレが簡易水栓だったことです。ご主人には経験がありません。そこで、親しくなったばかりの近所のお店にわけを話して「体験」させていただくことに。

「結果、それほど違和感はなかったようで大丈夫でした」(笑)

他にも、ご主人は仕事の融通をつけて、出勤する愛さんに代わり、一人で気になることをあれこれ近所に尋ねて回ったそうです。住む前のこうした地元の人とのやりとりも、移住後の安心につながっています。

「以前住んでいた福岡市内とは時間の流れ方が違いますね。静かで、人も自然もゆっくりと呼吸しているような感覚。私も

ゆっくり、自分らしく過ごしていいんだ、と思うようになりました」。

これから移住を考える人へのアドバイスを尋ねると、「期待し過ぎず、可能であれば現地に足を運び、そこで生活している人と話したりできたらいいかもしれませんね」と。愛さんの実感こもる話です。



愛さんの
お気に入りスポット

深江海水浴場の東寄り



遠浅の海岸が約700mに渡って続きます。その東寄りの一貴山川河口に近いところが、愛さん家族の憩いの場所。メインの海水浴場から少しはずれにあたるため、夏でものんびり過ごすことができるそうです。川幅を広げてゆったりと流れる川、そして海。どちらも澄み切っています。



さあ海へ!後姿も嬉しそう



山あいの環境の良さを伝えたい 一心で、民泊を始めました。



上口勝平さん(30代、公務員)

- ・家族構成：本人、妻(民泊運営)、子1人
- ・居住地：長糸校区
- ・移住元：福岡市
- ・居住歴：5年

夫妻に共通する 山里への想い

糸島市の南部、東西に走る県道から小道に入ると、山の気配が次第に濃くなっていきます。ゆるやかな坂道を上ったところにある10戸ほどの小さな集落。その中に上口さん一家の住まいがあります。

夫の勝平さんは福岡市内の職場へ電車通勤、妻の香保里さんは、ここで民泊を運営。週末には二人が協力して宿泊客を迎え入れます。そんな生活に到る経緯からお聞きました。

香保里さんは料理の経験を生かし、自宅で仕事ができる環境を作りたいと、広めの民家を探していました。料理の先生の紹介でこの家を見にきたところ、二人とも環境の良さに一目惚れ。「何をするより、ここに住みたいと思った」と、口を揃えます。

香保里さんは、「実際住んでみたら一日が気持ち良くて。滞在してもらってこの良さを伝えられたら」と考えるように。引越しの翌年、民泊新法ができるとすぐに申請。民泊運営に踏み切りました。

「里山への憧れがありました」と、勝平さんはいいます。二人とも大学では景観工学を専攻。地域の生業が、その地域の景観を作ることを学びました。「今は、それを実地で学ばせてもらっているところです(笑)」。地域のさまざまな活動のほか、地元の消防団員としても関わる中で、よく声をかけてもらうようになったそうです。「そんなつながりから、いろいろ助けてもらっています」

一家が暮らす集落は高齢者のみの世帯が多く、たいいては三世代が同居できるような広い家に住んでいます。一方で、息子と同世代の子どもがいない、車で行かないと友だちと遊べない、といった切実な課題も。「福岡市など都市部の友人で、こちらに移住したいと言う人は多いです。お年寄りが地域に住み続けながら、若い



産みだての卵が食卓に上る

家族を受け入れるような循環ができないだろうか」と、勝平さんは考えています。



里山に抱かれた集落風景

カボチャが食卓に上ります。

夜明け前、勝平さんは静まりかえった畑に身を置き、空が刻々と色を変えて行くのを見つめます。一日の始まりの大切な時間です。

地域の人に教わる “身体を使う暮らし”


福岡市内にいる頃に比べ、山里の暮らしはどう変わったのでしょうか。香保里さんは、「街にいたときには使わなかった手足を全部使います。身体を使うことで解決することがいっぱいある。地元の大先輩から教わることも多い」といいます。

台所からは炊飯器、電子レンジ、トースターが姿を消しました。ガスの火だけでできることに気づいたのです。炊飯器は土鍋で、レンジは蒸し器やお櫃で、トーストもガスの火で。「だんだん慣れてきて、今がいちばん楽しい時期かも」と、二人ともにこやかな表情です。

身体を使う最たるものが畑仕事でしょう。自宅のそばに一反(300坪)余りの畑を借りて、二人がそれぞれ自然農で野菜を育てています。家で使う野菜はほとんど畑で調達。冬場は菊芋やヤーコン、夏に収穫した

★ 上口さんの
お気に入りスポット ★

深江海岸の西寄り



上口さん一家が住む山あいの集落から、深江海水浴場まで車で10数分。この距離感が嬉しいところ。海辺に住む愛さんとは逆の、西寄り。同じ海岸でも、それぞれお気に入りのポイントがあるんですね。夏は家族で日が暮れるまで、ここで過ごすそうです。



〈 PEOPLE 1 〉

糸島一の田園風景を見ていて、 豊かさの感じ方が変わりました。



舛野生太さん (30代、会社員)

- ・ 家族構成：本人、妻
- ・ 居住地：一貴山校区
- ・ 移住元：東京都
- ・ 居住歴：3年

仕事と住まいを 同時に糸島に求めた二人

舛野さんは、移住先を決めるより先に勤め先のIT会社を退職し、夫婦で「どこに行こうか」と探し始めたそうです。初めて訪れた糸島に移住を決めた理由を、舛野さんは三つ挙げてくれました。

「一つは、都市へのアクセスの良さ。実は東京での生活が楽しかったのもあって、都市部での買い物なども楽しみたいと思いました。二つ目は海と山が近く、食も豊かなこと。三つ目は、人の良さ、移住者も多いということ。市役所で移住相談に乗ってもらい、移住者の話はゲストハウスに泊まって直接聞いたので、安心できました」

仕事については、「ITが盛んな福岡市も含めて探せば、求人は少なくないはず」という見通しがあったようです。まず奥さんが糸島市の地域おこし協力隊に応募して採用が決まり、舛野さんは、知人の紹介もあり、市が誘致した企業に勤めることに。さらには、ふらっと立ち寄った不動産会社で新築アパートが見つかるという幸運も重なりました。

「仕事の不安がなくなり、家も決まって、人も良さそうだ、これはもう進むしかない」と



散歩中の2人。田園の広がり爽快

美しい田園風景を 暮らしに織り込んで

二人が住むアパートのすぐ南には田園が広がり、その奥に脊振山系の山並みを遠望できます。舛野さんは、「この田園風景は、いちばん僕たちの生活に根付いて、豊かにしてくれている」といいます。毎朝、愛犬と散歩するそうですが、「本当に気持ち良く、毎朝リフレッシュできています」と。

この一貴山校区は、市内で最も広い耕地面積を有する地域。田園は四季折々に美しい表情を見せます。期せずして飛び込んだ地で、身近な環境の良さを感じて生活に取り込む感性は、うらやましいほど。

「豊かさの感じ方が変わった」と舛野さんはいいます。東京では、あちこち遊びに出かけて刺激的な毎日を楽しんでいたそうですが、「情報量が多いと人は疲れがち。自分もそうだったんだなあと、糸島にきて気づきました」。今は、家を出るとすぐに見える空、通勤途中の海や可也山といった日常の光景さえ、気持ちを満たしてくれます。

「家賃は東京の半分。食費は下がり、満足度は上がった」という舛野さん。休日は二人でご飯を食べに行ったり、カメラ片手に散歩をしています。近所の人からアパートの隣に畑を借りて野菜作りも始めました。同じ畑のお婆ちゃんと、お互いに育ち具合を見たり、とれた野菜を交換するなど、ほっこりした交流が生まれています。

聞けば、今の会社の中にも、東京から縁もゆかりもなく移住してきた人がちらほらい

るとか。「なんとかなる、糸島が好きならなんとかなる」と、移住を考える人へ、舛野さんの率直なメッセージをいただきました。

移住して3年目。家を建てる計画で、土地を探しているそうです。二人がこれからどんな糸島ライフを築いていくのか楽しみです。



アパート横の畑で奥さまの結花さん

舛野さんの お気に入りスポット 一貴山の田園風景



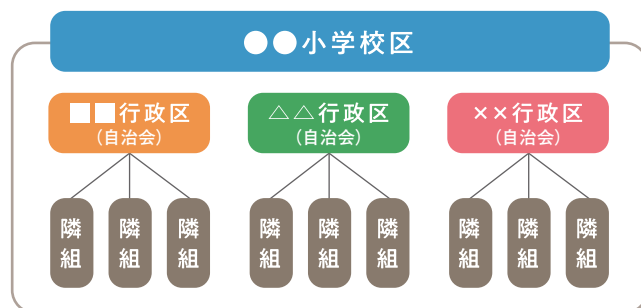
隣の市街地から続く住宅が途切れると、見渡す限りの田園風景が広がります。秋には黄金の稲穂が波打つように揺れて、壮観です。田園の中を電車が走る風景が好き、という人も。舛野さんにとって「豊かさの感じ方を変えた」、糸島の環境を象徴する風景です。

魅力あふれる 地域コミュニティ



校区・行政区

糸島市には16の小学校区と164の行政区(自治会)があります。各行政区域内では、自治組織が形成され、お祭りや清掃活動などさまざまな活動によって、地域住民の手で、地域が守られています。お互いがお互いを気にかけて支え合う、地域のコミュニティが存在することも糸島市の魅力の一つです。



自治会活動で、

「美しい未来の糸島づくり」

自治会とは、地域住民がコミュニティを形成・維持するために自ら組織・運営している団体です。素晴らしい糸島の魅力を未来に繋げていくため、自治会に加入し、まちづくりに参画しましょう。



◎自治会に加入するメリットは？

①自治会の活動は、地域住民の交流の場です。活動に参加することで近所の人と顔見知りになることができ、日常生活における安心感が得られます。また、日頃の交流が災害時などのいざというときの助け合いにもつながります。本市では、自治会との協働でまちづくりを行う方針としており、市民の約9割が自治会に加入しています。

◎自治会の活動とはどのようなもの？

①夏祭りなどの親睦行事、生活エリアの環境美化、伝統文化の継承、防災活動、子ども会、通学路の見守り活動など、自治会ごとに様々です。

◎自治会費は必要ですか？

①自治会によって金額が異なりますが、行事や環境美化などの運営のために必要です。また、入会費が必要なところもあります。

◎加入方法は？

①お住まいの地域の自治会長にお尋ねください。また、連絡先は市に問い合わせください。

※問い合わせ 糸島市コミュニティ推進課 ☎092-332-2062



登下校中の見守り活動



災害に備えるための防災講演会

交通環境

糸島市の中央部を東西方向に JR 筑肥線が通り、福岡市天神、JR 博多駅、福岡空港などへのアクセスもスムーズです。



博多駅まで41分。福岡空港駅まで47分(最速)

福岡都心へ、博多駅へ、空港へ、乗り換えなしで、こんなに速く

■ JR筑肥線(福岡市営地下鉄と直結)

- 筑前前原駅 → 天神駅へ 35分
- 乗り換えなし! → 博多駅へ 41分
- 福岡空港駅へ 47分

■ 西九州自動車道(福岡都市高速道路と直結)

- 前原IC → 福岡空港へ 35分
- 福岡ICへ 40分
- 太宰府ICへ 40分

ラッシュ時は増便して運行

上り77便・下り77便 / 1日運行(平日)

6~9時

- 筑前前原駅 → 福岡空港駅 20分
- 福岡空港駅 → 筑前前原駅 17分
- (上り始発 筑前前原駅発 5:07)

18~21時

- 筑前前原駅 → 福岡空港駅 16分
- 福岡空港駅 → 筑前前原駅 16分
- (下り最終 福岡空港駅発 0:00)

★高速バス「いと・しま号」

糸島市と福岡市天神・博多を結ぶ高速バス。

(平日)87便 上り:43便 下り:44便

(土日祝)44便 上り:22便 下り:22便

【運賃】前原~天神・博多 片道500円(往復券利用時)他

回数券利用は
もっとお得!



福岡市営地下鉄と直結するJR筑肥線



充実した子育て環境で

地域ぐるみ、市民みんなで
楽しく支援する子育て



糸島市子育て世代
包括支援センター

子育ての相談

いとハピ

専門相談窓口「いとハピ」では、助産師、保健師、保育士などの専門職が妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談と支援を実施しています。ママ・パパだけではなく、ご家族どなたでも気軽に相談ください！

糸島市公式アプリ
「いとハピナビ」子育て・
予防接種情報を
配信しています！



相談
内容
例

助産師・保健師

- ・母子健康手帳交付 ※予約制
(妊婦さんと面談をして一人ひとりに応じた
情報提供やご相談を行います。)
- ・妊娠出産に伴う身体や心の変化
- ・母乳やミルクについて
- ・赤ちゃんの体重や皮膚の状況



保育士など

- ・家族の事、兄弟児の事
- ・子どもの遊びや遊び場について
- ・生活リズムについて

※問い合わせ 糸島市子育て世代包括支援センター いとハピ ☎092-324-9994 開所時間 8:30~17:15(日・月・祝日を除く)

子どもとの遊びの場

糸島市
子育て支援センター

市内3カ所に子育て支援センターがあります。親子で自由に遊ぶ「子育て広場」、親子のふれあい遊び・集団遊びを行う「子育て教室」などを開催し、親どうしの交流促進や子育ての負担感の解消・軽減につなげています。また、育児サークルも紹介しています。

(子育て支援相談/月~土曜日 8:30~17:00)



子育ての助け合い

糸島市ファミリー・
サポート・センター

子育ての支援をしてほしい人と子育ての援助をしたい人が会員となって、子どもの預かりなど、一時的な子育てを助け合う有償ボランティア事業を実施しています。



※問い合わせ 糸島市ファミリー・サポート・センター ☎092-332-8717

子ども医療費の助成

中学生までの入院医療費と通院医療費の一部を助成します。

■助成範囲と一部自己負担額

	0歳~2歳	3歳~就学前	小学生	中学生
通院	無料	800円/月	1,200円/月 [1医療機関当たり(薬局を除く)]	
入院	無料	500円/日(月7日上限、1医療機関当たり)		
所得制限	なし			

※問い合わせ
糸島市子育て支援センター
☎092-321-0464



※問い合わせ 糸島市子ども課 ☎092-332-2074

安心・・・“糸島生活”

保育所(園)・幼稚園など

●保育園・保育所(15か所)

雷山保育園 / いわら保育園 / 白鳩保育園 / うるう保育園
泊保育所 / りんでん保育園* / 加布里保育園 / 怡土中央台保育園
青空保育園 / 金華保育園 / 桜井保育園 / 引津保育園
深江保育園 / かみあり保育園 / とまりの森保育園
※令和4年4月に認定子ども園に移行予定。

●認定こども園(8か所)

前原中央保育園 / 瑠璃幼稚園 / アソカ幼稚園 / るんびにこどもえん
可也幼稚園 / 長糸保育園 / 一貴山保育園 / 福吉保育園

●小規模保育園(4か所)

りんでんの家 / 御床とことこ保育園
風の子保育園 / なぎの木保育園

保育所等の空き状況 入所の申込み



- ★保育所の最新の空き状況は市のホームページから確認できます。
希望多数の場合、入所できないことがあります。
- ★施設の見学などは各保育所に直接問い合わせください。

※入所に関する問い合わせ
糸島市子ども課 ☎092-332-2074

みんなのびのび
元気だよ!

●幼稚園(5か所)

●届出保育施設(5か所)

●企業主導型保育園(5か所)



※幼稚園、届出保育施設、企業主導型保育園の入園手続きなどは各園に
直接問い合わせください。

病児・病後児保育施設 コアラ

生後3か月から小学生までのお子さんが
病気の「回復期」または「症状の急変が認め
られない状態」にあり、集団生活などが困
難な場合には、病児・病後児保育施設
「コアラ」を利用できます。

共働き家族の子育て
支援します!



こんなときに利用できます!

- ・子どもが風邪をひいて、まだ保育園や学校に行かせるのは心配。
- ・急用で出掛けなければならないが、病児・病後児を連れていけない。

※問い合わせ 糸島市病児・病後児保育施設コアラ ☎092-322-9720

最長 19時まで

放課後児童クラブ

保護者が仕事などで昼間家庭にいない小学生を対象にした、放課後の遊びと生活の場です。姫島小を除く各小学校に設置しており、月～土曜日、最長19時まで利用できます。

★希望多数の場合、入所できないことがあります。

※問い合わせ 糸島市子ども課 ☎092-332-2074

みんなで宿題したり
遊んだりするよ!



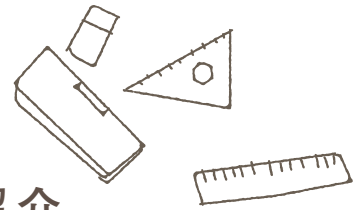
子育てを切れ目なくサポート

対象事業	満年齢																	
	妊娠期	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	
		乳幼児		幼児			小学生					中学生						
医療費助成		■																
子育て支援センター		■																
いとハピ		■																
ファミリーサポートセンター		■																
コアラ		■																
幼稚園					■													
保育所(園)・認定こども園		■																
企業主導型保育園		■																
小規模保育園		■																
放課後児童クラブ								■										

糸島の子どもたちは、

市内には、小学校が16校と
中学校が6校あります

小中学校
普通教室の
エアコン導入率
100%



学校の魅力紹介

子育てで現在進行中のママライターが、学校の魅力や情報を保護者の目線で発信しています。



前原地域

雷山小学校	10
長糸小学校	9
前原南小学校	30
前原小学校	27
南風小学校	21
加布里小学校	17
東風小学校	26
波多江小学校	28
怡土小学校	15

前原中学校 26

前原西中学校 30

前原東中学校 26

二丈地域

深江小学校	14
一貴山小学校	8
福吉小学校	8

二丈中学校 10

福吉中学校 5

志摩地域

可也小学校	23
引津小学校	11
桜野小学校	9
姫島小学校	2

志摩中学校 17

志摩中学校姫島分校 1

数字は令和3年5月時点の学級数

糸島市の学校教育

糸島市のホームページでは、学力調査、就学援助制度などの最新情報を発信しています。

ぜひご覧ください。

※問い合わせ

糸島市学校教育課 ☎092-332-2097



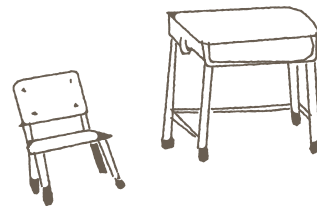
学力の向上も“食育”から

農水産物の豊かな糸島市では、米をはじめ地元の食材を学校給食に取り入れ、地産地消と食育の取り組みを進めています。22校ある小中学校のうちの20校が、学校の給食室で調理を行う「自校調理方式」を採用しており、新鮮でおいしい給食が提供されています。

(※学校給食は全小中学校で実施しています)



令和2年度の
学校給食における
精米(もち米他含む)の
地産地消率は
99.89%!



県立高校も私立高校も
多くの学校から
選べます

糸島市から通学できる高等学校は?

公立(県立・福岡市立)
高校15校

糸島、糸島農業、修猷館、城南、筑前、早良、玄洋、福岡西陵、福岡講倫館、福岡工業、水産、博多青松、福岡女子、福翔、博多工業

※糸島市は第6学区です。

主な私立高校

西南学院、東福岡、福岡舞鶴、筑紫女学園、中村学園女子、福岡女学院、福大附属大濠、九産大付属九州、上智福岡、福岡雙葉、福大附属若葉 他(以上福岡市)

早稲田佐賀(唐津市)

地域と共に成長します



九州大学の 知の資源を子どもたちに



九大の
キャンパスで

九大生が中学生の学力向上に取り組む「伊都塾」

「生きる力」を育む学校づくりの方針のもとに、子どもたちの「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成を目指す系島市では、身近にある九州大学との連携・交流を図ることで、教育環境に新しい変化が生まれています。



九大生が講師となった科学実験教室



小学校の
授業で

九大生が小学生の学習を応援する「九大寺子屋」



九州大学
伊都キャンパス



自分らしい働き方、生き方がきっと見つかる

時間や場所にとらわれない働き方を可能にするテレワークを活用し、糸島の豊かな自然のなかで、子育てや家族との時間などを大切にしたい自分らしい暮らしを実現しませんか。

糸島テレワークセンター

「糸島テレワークセンター」は、シェアオフィスやコワーキング施設として利用できます。

相談員が常駐しており、「テレワークを始めたいけど、どうすれば良いのか」といった初心者の方の悩みから、「共同して仕事ができる人はいないか」という実践的な相談まで幅広く相談を受け付けています。



糸島テレワークセンター



移住者の利用も多い民間のシェアオフィス

その他市内のテレワーク施設

市内には民間のコワーキングスペースやシェアオフィスがあり、目的に応じて利用することができます。各施設で利用者どうしのコミュニティができており、起業や新規事業開拓などの際にも情報提供などの支援をしよう互助体制ができています。



起業家へのメリット多数!

糸島市商工会では、市内での起業を考えている人向けに支援制度を設けています。

■ワンストップ相談窓口の設置

起業準備から、起業後のフォローまで一貫して個別に支援するために、「ワンストップ相談窓口」を設置しています。専門知識が豊富な商工会職員が相談に応じます。



(相談時間/月～金曜日 8:45～17:30)

■リフォーム費用の補助

事業を始めるのに必要不可欠な店舗や事務所。起業に必要なリフォーム費用総額のうち、最大30万円を補助します。

■借入金の利子補給制度

日本政策金融公庫から新規創業資金などを借入れた人に対して、借入後1年間で5万円を上限として利息を助成します。

■創業塾の開催

起業希望(起業前)の人と起業後5年未満の人を対象に、「創業塾」を開催しています。経営上の課題・成功事例、資金繰り表の作成方法、マーケティング手法などの充実した内容です。



※問い合わせ 糸島市商工会 ☎092-322-3535

糸島市公式就職支援Webサイト

きっとみつける「糸島しごとさがし」

きっとみつける「糸島しごとさがし」は、市内に勤務地のある企業・事業所と仕事を探している求職者とのマッチングをサポートする糸島市公式就職支援 Web サイトです。

ハローワークにはない情報もありますので、ぜひご覧ください。



きっとみつける「糸島しごとさがし」
<http://itoshima-shigoto.jp>



【問い合わせ】糸島市商工振興課

☎092-332-2080 ✉shokoshinko@city.itoshima.lg.jp

ハローワーク

ハローワークインターネットサービス

厚生労働省が運営する「ハローワークインターネットサービス」では、職種や雇用形態などから検索することができます。就業場所を糸島市に設定して検索してみてください。

また、市内にはハローワーク福岡西のサテライト施設「糸島市ふるさとハローワーク」があり、終業相談や求人紹介などを受けることができます。気軽にご利用ください。



【問い合わせ】

糸島市ふるさとハローワーク

☎092-321-1610

糸島市前原中央二丁目14番14号【開所時間】月～金 9:00～17:00

不動産情報はどこに？

糸島の物件は、市内の不動産会社に多くの情報が集まります。住みたいエリアの特定と不動産会社への訪問が、住まい探しに有効です。

2段階移住が有効な場合も

不動産市場は日々流動していますので、移住したい時期に理想の住まいに出会えるとは限りません。特に一戸建て住宅はその傾向にあります。

まずは、物件数が豊富で比較的安価な賃貸集合住宅に居住しながら、時間をかけて居住地や物件を探すと理想の物件に巡り合うチャンスが広がります。

※問い合わせ 糸島市コミュニティ推進課 ☎092-332-2062

インターネット検索

住宅の賃貸又は売却を希望する所有者から情報を預かり、空き家バンクで公開しています。ぜひご覧ください。また、福岡県宅地建物取引業協会の不動産情報ネット「ふれんず」でも、多数の物件を紹介しています。



空き家バンクの情報例

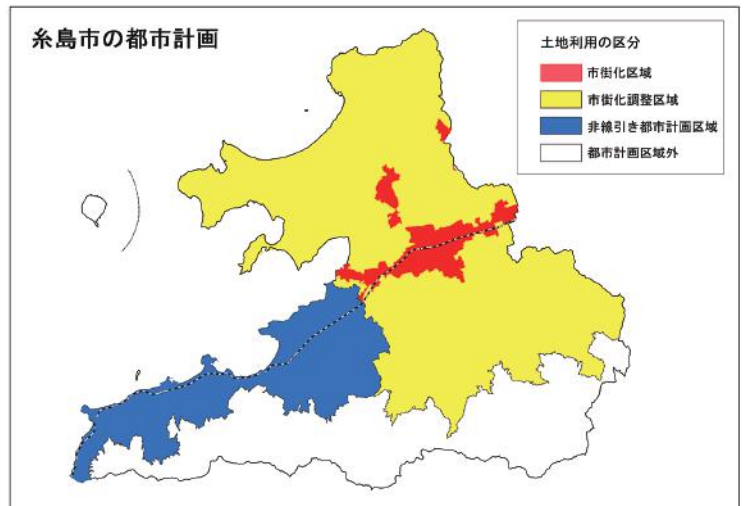
都市計画

市内には、無秩序な市街化を防止するために市街化調整区域を定めています。市街化調整区域では基本的に新たな開発や住宅等の建築ができません。

市街化区域や非線引き都市計画区域は、基本的に建築ができますが、建物の用途を定めている地域があります。

詳しくは問い合わせください。

※問い合わせ 糸島市都市計画課 ☎092-332-2077



マイホームの「夢」応援します！

糸島市限定 住宅ローン特別金利 **年0.1%** 金利優遇

福岡銀行と西日本シティ銀行では、糸島市で住宅を建築・購入・リフォームされる人を対象に、住宅ローン特別金利を適用しています。

福岡銀行

- ①がん保障特約が充実！さらに、ご夫婦の病気やケガによる入院も保障されます。
- ②夫婦・親子や、同性パートナーの連帯債務や収入合算が可能です。



※ 問い合わせ

- ふくぎんダイレクトコンサルティングプラザ
- ☎フリーダイヤル 0120-788-324
- [受付時間] 平日9:00～20:00
- 但し、銀行休業日は除きます。



福岡銀行ブランドキャラクター「ユーモ」

※ローンの申し込みには、福岡銀行および保証会社の審査があります。

西日本シティ銀行

- ①返済期間を50年まで選択可能！出産・育児で休業する場合「元金返済の据置(最長5年)」と「融資期間の延長(元金返済据置期間を含め最長55年)」が可能！安心してローンを組めます。
- ②保障内容や一時金給付が充実した特約や、LGBTQの方がお申し込みしやすい取扱いも準備しております。

※ 問い合わせ

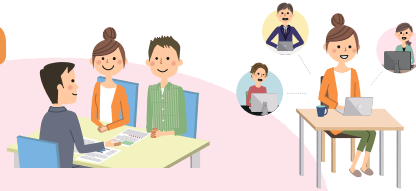
- 西日本シティ銀行ローンコールデスク
- ☎フリーダイヤル 0120-714-919
- [受付時間] 平日9:00～20:00 土日10:00～17:00
- (休業日:12/31～1/3・5/3～5/5・祝日・振替休日)
- サービス番号【2】住宅ローンを選択ください。



移住のステップ

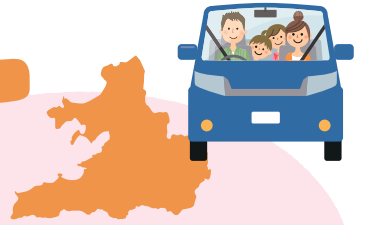
移住までには、人それぞれにストーリーがありますが、ここでは一例としてご紹介します。

移住相談



市の定住支援員が、行政の立場から糸島の情報を提供します。個別に相談に応じますので、一度ご相談ください。オンライン相談もお気軽にどうぞ。

行ってみる



実際に糸島を訪れて、移住先となり得るかを確かめてください。この時に市内を散策し、候補地を2〜3エリアに絞ることで、後の物件探しの効率が良くなります。2〜3日宿泊してみるとより効果的です。

住まい探し

市内の不動産会社を実際に訪問し、具体的な条件を伝えることが物件探しの近道です。

遠方からでも空き家バンクなどのネット検索で物件を調べることができます。



地域情報を収集



地域コーディネーター（市民）が、子育て環境や買い物事情、地域行事などの地域に密着した情報を提供します。住民の生の声を聴くことで、地域をより深く知ることができます。



しごと探し

ハローワークなどでは、市内の求人情報が多数紹介されています。

また、交通利便性もよいことから、糸島に住みながら福岡市へ通勤するライフスタイルも可能です。

「まっと満足」

糸島生活

LIFE TOWN ITOSHIMA

よろしくお願いします

引っ越しが完了したら、ご近所に挨拶してみてもいかがでしょうか。快適な新生活のスタートが期待できます。



移住者と地域をつなぐ「地域コーディネーター」

松藤伸二さん
出身：糸島市



江藤美希さん
出身：佐賀県

生活に密着した地域情報の提供や、移住に関する不安や疑問の解消を目的に、市内16の小学校区のうち、10校区に地域コーディネーターを配置しています。地域の実情に詳しい人に担っていただき、「どんな人が住んでいるの?」「どこで買いものをしているの?」といった、住んでみないと分からないことを何でも質問することができます。

松藤さんは、生まれも育ちもずっと一貴山校区。江藤さんは10年余りに佐賀県から移住した、3人の子どもを育てるお母さん

※問い合わせ 糸島市コミュニティ推進課 ☎092-332-2062

Q & A (よくある質問)

◎ 生活に車は必要ですか？



A 利便性が高い市街地では車がなくても生活することができます。その他の地域では一家に一台は車が必要です。車があると行動範囲がグンと広がりますので糸島生活がより充実します。

◎ 災害が気になるが？



A 糸島市内には、洪水や土砂災害などの災害想定箇所があります。移住先を検討する際には、ハザードマップを確認し、どのような災害リスクがあるのかを確認しましょう。



ハザードマップはこちら

◎ 農業を始めたいのですが？



A 農業で生計を立てるにはそれなりの経験と覚悟が必要です。まずは市民農園で家庭菜園に挑戦してはいかがでしょうか。栽培する作物を決めるための研究にもつながります。

◎ 税金が高いと聞きますが？

A 糸島市が他の自治体と比べて所得税や市県民税の税率が特に高いということはありません。また、糸島市では都市計画税もかかりません。

ただし、産業構造や地形の問題から水道・下水道使用料は割高になっています。



◎ 移住者が多い地域はどこですか？

A 移住者数（転入者数）は市街地が圧倒的に多いですが、自然豊かな地域にも移住する人が増えてきています。最近はその地域でも移住経験者が多いと言えます。



◎ 地域に受け入れられますか？

A 一般的に、糸島に住む人はおおらかで移住者を受け入れる土壌は整っています。地域行事や清掃活動に参加するなど、日頃から顔が見える交流を大切にすることが地域への馴染みにつながります。

＼何でもご相談ください！／



定住支援員が移住をサポートします

糸島市移住相談

「住まい」「仕事」「子育て環境」など、知りたいことを相談してみませんか？

オンラインでも相談できるゴン

相談無料



相談方法

■対面相談

糸島市役所のコミュニティ推進課へお越しください。電話やメールでお申し込みください。

■オンライン相談

下記の案内ページから予約をお願いします。(随時受付)
【オンライン移住相談で案内ページ】
<https://itoshimalife.city.itoshima.lg.jp/online/>



お問い合わせ

糸島市コミュニティ推進課 人口減少地域対策係
〒819-1192 福岡県糸島市前原西1丁目1番1号
Tel 092-332-2062 (直通) Email community@city.itoshima.lg.jp

暮らしやすいね、“糸島生活”

1か月当たりの消費支出 (夫婦と未婚の子供2人の世帯)

	福岡県(糸島市を含む)
食料	76,245円
住居	24,260円
光熱・水道	20,110円
家具・家事用品	9,283円
被服及び履物	12,372円
保険医療	9,641円
交通・通信	47,200円
教育	25,704円
教養娯楽	29,664円
その他	51,241円
計	305,720円

(2019年全国家計構造調査)

市県民税

所得割(税率)	10%
均等割	5,500円

※均等割の内訳は市民税3,500円 県民税2,000円です。



国保税 医療保険+後期高齢者支援金+介護保険

	糸島市	福岡市
所得割	12.60%	13.93%
均等割	44,900円	39,650円
平等割	26,700円	37,643円

※糸島市は資産割はありません。

固定資産税 糸島市で一戸建て住宅を新築した場合の目安

(JR筑前前原駅近郊の住宅地に一戸建て住宅を新築した場合)

	面積	税額	
家屋(新築)	120㎡(約36坪)	税額 注1	128,000円
		新築軽減(3年間) 注2	-64,000円
		軽減後の税額	64,000円
土地	200㎡(約60坪)	税額 注3	18,100円
年税額 (家屋の税額+土地の税額) ※いずれも軽減後の金額です。			82,100円

福岡都市圏では多くの市町村で都市計画税がかかるのに、糸島市はかからないんだね。

注1 家屋の税額は、構造、面積、仕様などにより異なります。
注2 新築後3年度分が軽減されます。床面積により適用されない場合があります。
注3 土地の税額は、住宅用地特例による軽減後の金額です。場所、土地の形状、面積などにより異なります。

介護保険料 65歳以上の人

介護保険料基準額(月額)	5,810円
--------------	--------

※所得などの状況により、保険料は増減します。

水道・下水道使用料 月額料金(口径20mm/20㎡使用)

	糸島市	福岡市
水道	4,355円	3,355円
下水道	3,650円	2,651円



糸島市イメージキャラクター「いとゴン」

学校給食費 (年額の目安)

糸島の新鮮な食材を使っているよ。

	糸島市	福岡市
小学校	46,200円	46,200円
中学校	55,000円	55,000円



最新の移住・定住情報、日々の様子を発信中!

「き」と満足!

糸島生活
Life Town Itoshima



糸島生活
WEBページ



糸島市公式
フェイスブック



Facebook



糸島市役所
シティプロモーション

Instagram



糸島市公式
インスタグラム



お知らせ 新婚生活を応援します!

～糸島市結婚新生活支援金～

糸島市では婚姻届けを受理された夫婦(婚姻時における年齢が39歳以下)に支援金を交付します。この制度は、婚姻に伴う住宅取得費用や家賃、引越費用などの一部を助成するものです。

支援金の交付には申請が必要です。申請方法や要件など、詳しくはお尋ねください。



最大
60万円



お問い合わせ

糸島市コミュニティ推進課 人口減少地域対策係
〒819-1192 福岡県糸島市前原西1丁目1番1号
Tel 092-332-2062 (直通) Email community@city.itoshima.lg.jp



糸島市地域振興部コミュニティ推進課
〒819-1192 福岡県糸島市前原西一丁目1番1号
☎092-332-2062 http://www.city.itoshima.lg.jp

※掲載内容は、令和4年4月1日現在のものです。